



～2018年度県央エリア年間テーマ～ 「くらしと産地をつなげて、県央エリアの輪を上げよう！」

相模原でじゃがいも収穫体験

卵のふしぎ発見！

卵のおいしさを伝えたい！

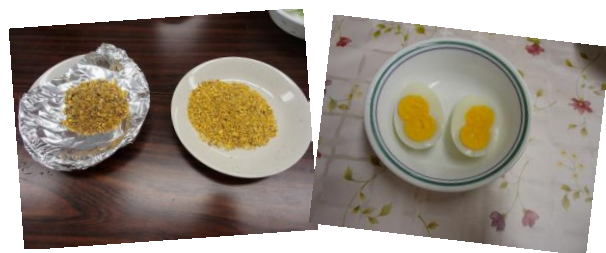


7月7日(土)、(有)小川和男養鶏場の小川さんが栽培されている畑でじゃがいもの収穫体験と、卵の学習会で交流の機会をもちました。フカフカの土の中に手を入れてじゃがいもが顔を出すと、「あったー！こっちにも」「大きい！」と、子どもたちの喜びの声。

「きたあかり」「アンデスレッド」の2種類をビニール袋にいっぱい詰めて、楽しく収穫をした後は相模センターに戻り、知らなかった卵のお話で興味を深めました。

小川さんは、鶏がおいしい卵を産むために、非遺伝子組み換えの飼料を与え、開放鶏舎で健康で元気な鶏を育てています。

- ・黄身の色が違うのは？鶏が食べる飼料の違いです。
- ・どうして二黄卵が産まれるの？未成熟の若い鶏が、まだうまく産めないごく短い期間に産みます（小川さんは黄身が4つある卵を見たことがあるそうですよ）。
- ・二黄卵を茹でたら、黄身はどんなになるだろう？
縦に仲良く並んでいました(^)o(^)。



＜右が非遺伝子組み換え飼料＞＜縦に並ぶ二黄卵のゆで卵＞

異常気象や 異常な暑さ…

手遅れになる前に、
今、“でんき”のことを、
そして“わたしたちの未来”を
考える時です。



なぜパルシステムがFIT 電気
(再生可能エネルギー)に
取り組むのか…
まずはQRコードの映像をご覧
ください。(または、「Youtube 自分ででんき」で検索)



**パルシステムの“想い”がそこにあります。
今必要なのは“意識”を切り替えること！**

メンバーのお気に入り Vol. 84

私のお気に入りは、『乾燥ガードおやすみシルキーロール』というフェイスマスクです。

私は、歌を歌っているのですが、朝起きた時に、のどが乾燥して困っていたので、マスクをつけて寝ていました。

『乾燥ガードおやすみシルキーロール』を使いだしてからは、ゴムで、耳が痛くなることもなくなり、息苦しくて、朝になったら口から外れていたということもなくなりました。

私にとって、欠かせないものとなりました。

(NN)

